



## 2026年6月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年5月14日  
上場取引所 東

上場会社名 キュービーネットホールディングス株式会社  
コード番号 6571 URL <https://www.qbnet.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 泰男  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 壁谷 勝吉 (TEL) 03-6433-7723  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年6月期第3四半期の連結業績（2025年7月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	20,027	6.7	1,060	0.9	886	△1.8	584	△4.0	584	△4.0	801	78.2
2025年6月期第3四半期	18,768	2.7	1,051	△36.7	902	△41.8	608	△43.6	608	△43.6	449	△61.3

  

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	43.97	43.35
2025年6月期第3四半期	46.33	45.49

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	35,036	15,169	15,169	43.3
2025年6月期	34,211	14,683	14,683	42.9

### 2. 配当

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2026年6月期	—	0.00	—		
2026年6月期（予想）				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,350	7.1	2,200	30.5	2,000	35.3	1,400	36.9	1,400	36.9	105.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年6月期3Q	13,462,700株	2025年6月期	13,182,000株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	157株	2025年6月期	157株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年6月期3Q	13,283,688株	2025年6月期3Q	13,128,351株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示し、当社ウェブサイトにも掲載しております。

また、当社は、2026年5月18日に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催予定であります。決算説明会の内容については、後日、当社ウェブサイトに掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	5
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	7
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年7月1日～2026年3月31日)は、雇用及び所得の改善を背景に消費活動は持ち直しを続けております。しかし、非製造業を中心とした人手不足や、物価上昇による個人消費への影響があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。さらに、小売業においては賃金上昇や原材料費の高騰により経費が増加し、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下において、当社グループは、2025年6月期を初年度とする5か年を対象とした中期経営計画「NEXUS」を策定し、人財投資とDX投資を促進することで、世界中で「いつもの」をどこでも実現できるサービスの提供ができるよう事業活動に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上収益は20,027百万円(前年同期比6.7%増)、営業利益は1,060百万円(同0.9%増)、税引前四半期利益は886百万円(同1.8%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は584百万円(同4.0%減)となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

## &lt;国内事業&gt;

国内事業では、人財採用は堅調に推移しており、出店は計画どおりとなりました。研修期間を経た人財の店舗配属も計画を上回る水準となっており、2025年2月の価格改定実施と併せて割引制度「ツキイチキャンペーン」を全年齢に拡大したこと等から、来店客数は前年同期を上回る水準となりました。

この結果、当セグメントの売上収益は16,001百万円(前年同期比5.6%増)、セグメント利益は996百万円(同3.5%増)となりました。

## &lt;海外事業&gt;

海外事業では、北米において一部寒波による悪天候の影響を受けましたが、台湾での出店拡大等により、売上は堅調に推移いたしました。マレーシア・ベトナムなど新規進出地域では、コスト先行の段階ではあるものの出店を進めており、今後の成長に向けた積極的な事業展開をしております。

この結果、当セグメントの売上収益は4,036百万円(前年同期比11.5%増)、セグメント利益は64百万円(同28.0%減)となりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	売上収益	セグメント利益	売上収益	セグメント利益
国内事業	15,156	962	16,001	996
海外事業	3,618	88	4,036	64

## (2) 当四半期の財政状態の概況

## ① 資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ963百万円減少し、5,921百万円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の減少1,086百万円、その他の流動資産の増加128百万円等によるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,787百万円増加し、29,114百万円となりました。これは主として、有形固定資産の増加432百万円、使用権資産の増加934百万円、無形資産の増加187百万円等によるものであります。その結果、資産は、前連結会計年度末に比べ824百万円増加し、35,036百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ201百万円増加し、6,337百万円となりました。これは主として、リース負債の増加361百万円、未払法人所得税等の減少69百万円、その他の流動負債の減少63百万円等によるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ136百万円増加し、13,529百万円となりました。これは主として、借入金の減少519百万円、リース負債の増加566百万円等によるものであります。その結果、負債は、前連結会計年度末に比べ337百万円増加し、19,866百万円となりました。

資本は、前連結会計年度末に比べ486百万円増加し、15,169百万円となりました。これは主として、資本剰余金の減少379百万円、利益剰余金の増加584百万円、その他の資本の構成要素の増加199百万円等によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,086百万円減少し、4,185百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、3,359百万円（前年同期は2,560百万円の増加）となりました。これは主として、税引前四半期利益886百万円、減価償却費及び償却費2,986百万円等の計上に対し、未払費用の減少379百万円、法人所得税の支払額376百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、1,398百万円（前年同期は1,028百万円の減少）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出1,015百万円、無形資産の取得による支出212百万円、差入保証金の差入による支出208百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、3,194百万円（前年同期は1,358百万円の減少）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出525百万円、リース負債の返済による支出2,513百万円、配当金の支払額461百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の業績予想に関しましては、2025年8月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	5,271	4,185
営業債権及びその他の債権	1,292	1,317
その他の金融資産	18	3
棚卸資産	121	106
その他の流動資産	179	308
流動資産合計	6,884	5,921
非流動資産		
有形固定資産	1,578	2,011
使用権資産	7,138	8,072
のれん	15,430	15,430
無形資産	157	345
その他の金融資産	2,017	2,170
繰延税金資産	827	836
その他の非流動資産	177	247
非流動資産合計	27,327	29,114
資産合計	34,211	35,036
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	437	421
借入金	692	692
リース負債	2,731	3,093
未払法人所得税等	165	96
その他の金融負債	84	72
その他の流動負債	2,023	1,960
流動負債合計	6,135	6,337
非流動負債		
借入金	8,129	7,610
リース負債	4,200	4,766
その他の金融負債	54	46
繰延税金負債	30	32
引当金	963	1,056
その他の非流動負債	14	16
非流動負債合計	13,392	13,529
負債合計	19,528	19,866
資本		
資本金	1,373	1,455
資本剰余金	4,168	3,789
利益剰余金	8,755	9,339
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	385	584
親会社の所有者に帰属する持分合計	14,683	15,169
資本合計	14,683	15,169
負債及び資本合計	34,211	35,036

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上収益	18,768	20,027
売上原価	△14,749	△15,743
売上総利益	4,019	4,283
その他の営業収益	11	13
販売費及び一般管理費	△2,972	△3,217
その他の営業費用	△7	△19
営業利益	1,051	1,060
金融収益	17	21
金融費用	△165	△196
税引前四半期利益	902	886
法人所得税費用	△294	△302
四半期利益	608	584
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	608	584
四半期利益	608	584
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	46.33	43.97
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	45.49	43.35

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期利益	608	584
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△157	198
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	△0	19
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△158	217
その他の包括利益合計	△158	217
四半期包括利益	449	801
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	449	801
四半期包括利益	449	801

（4）要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2024年7月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッジ の有効部分	新株 予約権
2024年7月1日残高	1,352	4,502	7,733	△0	526	—	56
四半期利益	—	—	608	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△157	△0	—
四半期包括利益合計	—	—	608	—	△157	△0	—
新株の発行（新株予約権の 行使）	7	7	—	—	—	—	△4
剰余金の配当	—	△354	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—
所有者との取引額合計	7	△346	—	△0	—	—	△4
2025年3月31日残高	1,360	4,155	8,341	△0	368	△0	51

（単位：百万円）

	その他の資 本の構成要 素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
	合計		
2024年7月1日残高	582	14,170	14,170
四半期利益	—	608	608
その他の包括利益	△158	△158	△158
四半期包括利益合計	△158	449	449
新株の発行（新株予約権の 行使）	△4	11	11
剰余金の配当	—	△354	△354
自己株式の取得	—	△0	△0
所有者との取引額合計	△4	△342	△342
2025年3月31日残高	419	14,277	14,277

当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッジ の有効部分	新株 予約権
2025年7月1日残高	1,373	4,168	8,755	△0	345	△4	44
四半期利益	—	—	584	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	198	19	—
四半期包括利益合計	—	—	584	—	198	19	—
新株の発行 (新株予約権の 行使)	82	82	—	—	—	—	△17
剰余金の配当	—	△461	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	82	△379	—	—	—	—	△17
2026年3月31日残高	1,455	3,789	9,339	△0	543	14	26

(単位：百万円)

	その他の資本の構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
	合計		
2025年7月1日残高	385	14,683	14,683
四半期利益	—	584	584
その他の包括利益	217	217	217
四半期包括利益合計	217	801	801
新株の発行 (新株予約権の 行使)	△17	146	146
剰余金の配当	—	△461	△461
所有者との取引額合計	△17	△315	△315
2026年3月31日残高	584	15,169	15,169

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	902	886
減価償却費及び償却費	2,640	2,986
減損損失	—	5
金融収益	△17	△21
金融費用	165	196
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	145	△12
棚卸資産の増減額 (△は増加)	81	17
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△24	60
未払費用の増減額 (△は減少)	△417	△379
その他	△57	181
小計	3,419	3,919
利息の受取額	4	7
利息の支払額	△156	△190
法人所得税の支払額	△706	△376
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,560	3,359
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△834	△1,015
無形資産の取得による支出	△122	△212
差入保証金の差入による支出	△143	△208
差入保証金の回収による収入	83	72
その他	△12	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,028	△1,398
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△600	—
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△625	△525
セール・アンド・リースバックによる収入	483	158
リース負債の返済による支出	△2,273	△2,513
新株予約権の行使による収入	11	146
配当金の支払額	△354	△461
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,358	△3,194
現金及び現金同等物に係る換算差額	△145	146
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	29	△1,086
現金及び現金同等物の期首残高	4,701	5,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,730	4,185

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分決定及び業績評価をするために、定期的に検討を行う事業セグメントを基礎としております。

当社グループは、ヘアカット専門店「QB HOUSE」並びに多様なニーズに合わせた業態である「QB PREMIUM」及び「FaSS」の店舗展開により、ヘアカットサービスを提供しており、国内事業と海外事業に区分して管理しております。したがって、当社グループは「国内事業」及び「海外事業」の2つを報告セグメントとしております。上記の報告セグメントの決定に際して、集約された事業セグメントはありません。

各報告セグメントの概要は次のとおりであります。

事業区分	事業内容	当該事業に含まれるブランド
国内事業	ヘアカットサービスを国内において直営及びFCで展開	QB HOUSE、QB PREMIUM、FaSS
海外事業	ヘアカットサービスを海外において直営で展開	QB HOUSE、QB PREMIUM

2. 報告セグメントの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループの報告セグメントによる売上収益及び業績は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	要約四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	15,150	3,618	18,768	—	18,768
セグメント間の内部売上 収益	6	—	6	△6	—
計	15,156	3,618	18,775	△6	18,768
セグメント利益	962	88	1,051	△0	1,051

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	要約四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	15,990	4,036	20,027	—	20,027
セグメント間の内部売上 収益	10	—	10	△10	—
計	16,001	4,036	20,038	△10	20,027
セグメント利益	996	64	1,060	△0	1,060

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（1株当たり利益）

基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益（百万円）	608	584
普通株式の期中平均株式数（株）	13,128,351	13,283,688
希薄化効果のある普通株式数		
ストック・オプションによる増加（株）	242,661	189,741
希薄化後普通株式の期中平均株式数（株）	13,371,012	13,473,429
基本的1株当たり四半期利益（円）	46.33	43.97
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	45.49	43.35

（重要な後発事象）

該当事項はありません。